

「行きたい学校：志免中央小」をめざして

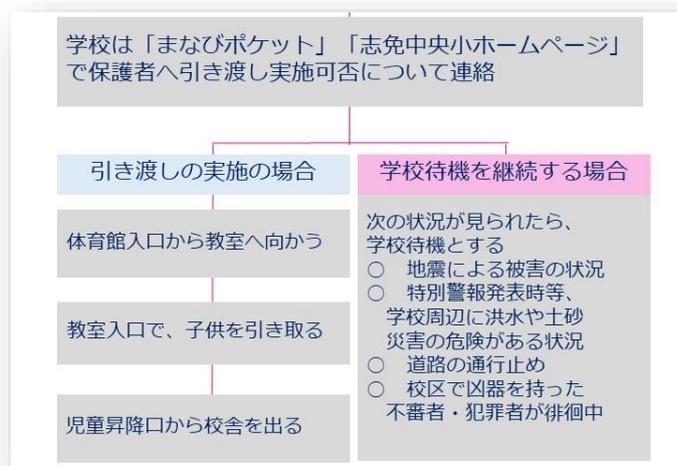
全国的に、小・中学校における不登校児童生徒数は増加傾向であることは保護者の皆様もご承知かと思えます。要因は様々です。本校では、子供の学びの場を確保するためにどのような支援ができるか、昨年度から子供一人一人に応じた支援の改善を重ねながら取り組んでいるところです。取組の一つに「別室登校＝校内適応指導教室」を設置しました。この教室は、本校や志免町の職員が子供に寄り添いながら学びの場を保障する教室です。1日のスケジュールを利用する子供と担任で決め、担任外の職員と一緒に学んでいきます。この教室を利用する際は、お子様と保護者と一緒に学校・家庭それぞれができることについて話し合いながら一人一人の状況にあった支援方法を探っていきます。子供と職員の信頼関係を築きながらの支援も大事ですが、子供同士の関わりも少しずつ増やしていきながら学ぶことの楽しさ、スモールステップでの人間関係づくりの構築、チャレンジの継続も図っていきたいと考えております。教室の名前は「スタールーム」。子供一人一人が輝くきっかけとなる場になりますように。



校内適応指導教室「スタールーム」の看板です。素敵な名前でしょう！子供が名付けてくれました。

緊急事態に備えた引き渡し訓練

27日（木）に、学習参観と引き渡し訓練を実施しました。避難訓練を実施する際、学校では物が「落ちてこない」「動いてこない」「倒れてこない」場所を自分で判断して身の安全を守るよう指導をしています。この視点で通学路の危険箇所や安全箇所をお子様と今一度ご確認していただきたいと存じます。実際に緊急事態となりましたら、安全が確認されるまで学校で児童を保護します。学校が校区の安全を確認した後、おうちの方に「まなびポケット」や「ホームページ」にて引き渡し実施可否の連絡をし、引き渡し開始となります。子供たちの安全と安心を学校・家庭・地域でつくっていきたいですね。



実際に引き渡しをする際の流れ図